

5 体を鍛える

1 子供の体力向上（指導部）

(1) 総合的な子供の基礎体力向上方策の推進

長期的に子供の体力が低下している中、平成31年度には、戦後、子供の体力がピークであったとされる昭和50年代の水準にまで向上させることを目標として、総合的な子供の基礎体力向上方策を推進する。

ア 「子供の体力向上推進本部」等の設置

平成21年5月に「子供の体力向上推進本部」を設置し、総合的な子供の基礎体力向上方策として、平成22年7月に「第1次推進計画」、平成25年2月に「第2次推進計画」を策定した。引き続き社会全体で子供の体力低下問題を解決していくための検討を行う。

イ 東京都統一体力テストの実施

都内公立学校の全ての児童・生徒を対象とした東京都統一体力テストを実施し、児童・生徒一人一人に結果を還元し、一人一人が自ら課題を持って体力向上に取り組むことができるようにするとともに、実態把握と評価・分析に基づく授業改善を行う。

ウ 「一校一取組」・「一学級一実践」運動の推進

都内全ての公立学校において、体力向上に向けた具体的な取組を展開するとともに、優れた取組や実践を報告書に取りまとめて配布し、参考資料として活用する。

エ 中学生「東京駅伝」大会

中学校教育の一環として、中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的として、区市町村対抗の駅伝競走を実施する。

(2) スポーツ教育の推進

子供の体力低下、学習指導要領改訂、スポーツ祭東京2013及び平成26年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催等を踏まえ、児童・生徒が、積極的にスポーツに親しみ健康増進や体力向上を図るとともに、スポーツの意義と役割を正しく理解し、心身の調和的な発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献することができるよう、スポーツ教育を推進する。

ア スポーツ教育推進校の指定

都内公立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校300校をスポーツ教育推進校に指定し、スポーツ教育を推進する。

イ スポーツ教育推進校への人的措置

スポーツ教育推進校における学校体育の一層の充実を図るため、ティームティーチングや少人数指導のための非常勤講師を措置する。

ウ トップアスリートの学校派遣「一日校長先生」事業の実施

アスリートを学校に招待し、その榮譽を讃えるとともに、アスリートに直接関わり、その生き方や考え方について学習する。

エ スポーツ教育推進のための補助教材の作成・配布

スポーツ都市東京を実現し、スポーツに親しむ児童・生徒の育成を図ることをねらいとして、スポーツ教育推進のための補助教材を作成・配布する。

(3) 部活動の振興

部活動振興基本計画を踏まえ、指導者の減少や生徒のニーズの多様化等の課題に対応していくとともに、生徒の個性・能力の伸長や社会性、生涯にわたる文化・スポーツ等に親しむ態度を育成するために、部活動の振興を図る。

ア 運動部活動指導者講習会の開催

運動部活動の実技や事故防止等について講習会を開催し、顧問教諭の指導力向上に努める。

イ 総合体育大会の開催

総合体育大会への参加を通して、都内中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の生徒の健全育成、健康増進及び運動部活動の振興を図る。

ウ 部活動推進指定校の指定

生徒の個性の伸長や人間性の育成を図るとともに、特色ある学校づくりを一層推進するために、都立高等学校の部活動振興モデル校を指定し、その成果の普及を図る。

エ 青少年を育てる課外活動支援事業

専門的指導や高度な技術指導を必要とする部活動に対し、相応の資格や指導力を有する外部指導員を重点的に導入する。

オ 地域との連携による都立特別支援学校の部活動振興事業

特別支援教育の充実に資するため、都立特別支援学校の部活動に地域の外部指導員を導入し、児童・生徒の個性や能力を一層伸長する。

カ 中学校部活動の休・廃部を防止するための外部指導員導入促進事業

中学校の部活動振興に関して、休部・廃部を防止する観点から、区市町村における積極的な外部指導員導入の促進を図る。

(4) 部活動による競技力向上

スポーツ祭東京 2013 や平成 26 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催を踏まえ、運動部活動による競技力向上を一層推進する。

ア 強化練習会の開催

東京都中学校体育連盟 20 競技種目及び東京都高等学校体育連盟 40 競技種目において強化練習会を実施し、組織的な強化体制を整備する。

イ 国体強化部活動の指定

スポーツ祭東京 2013 に向け、競技人口が少ない種目の選手の育成・強化を図る。

ウ 都立高校における「スポーツの名門校」づくりに向けた強化拠点事業

都立高校に各スポーツの強化拠点を指定し、全国大会等に出場できるよう競技力の向上を一層促進する。

エ 都立高校における県外遠征の実施

東京都と北海道夕張市による自治体間連携モデル事業の一環として、夕張市が開催する「高校生夕張キャンプ」へ生徒を派遣して競技力の向上を図る。

2 平成 26 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催（指導部）

平成 26 年度全国高等学校総合体育大会「煌めく青春 南関東総体 2014」の関東ブロック南関東四都県（東京都、千葉県、神奈川県、山梨県）による合同開催を翌年度に控え、準備を本格化する。

(1) 大会開催に向けた実施計画の策定

平成 26 年度全国高等学校総合体育大会の開催に向けて、総合開会式、競技種目別大会、広報・報道、宿泊・衛生、輸送・警備に関する詳細な実施計画を策定する。

(2) 総合開会式・競技種目別大会の日程・会場の決定

都が開催する総合開会式のほか、7 競技（体操（新体操含む。）、バレーボール、サッカー（女子）、相撲、弓道、テニス、なぎなた）について、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしく、全国から集まるトップアスリートたちが実力を思う存分発揮できるよう、競技日程、競技会場及び練習会場を決定する。

(3) 高校生一人一役活動の推進

本大会の主役である高校生が、選手としてだけでなく、総合開会式への出演、大会運営補助、大会 P R、草花装飾等の各活動に携わり、自らの手で大会を作り上げることによって多くの感動や達成感を味わうことができるよう高校生一人一役活動を推進する。